

一字書課題 (5月22日締切)

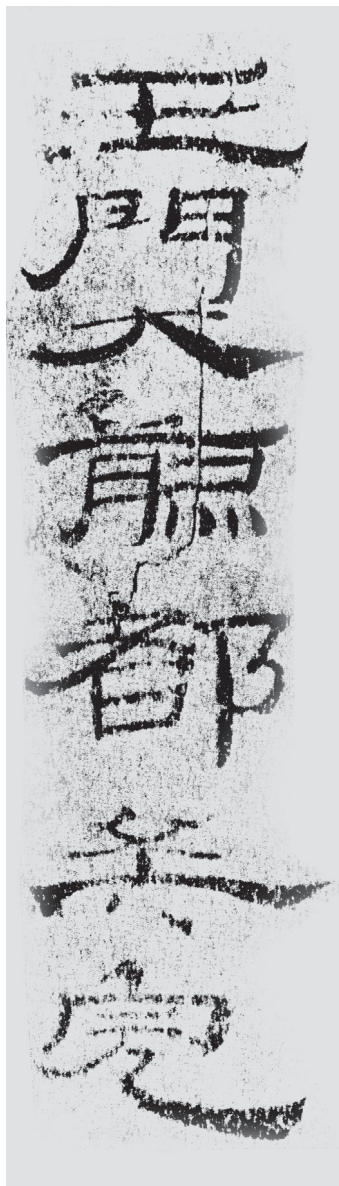
俊

- (1) 書体自由 (2) 半紙タテ
 (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
 (4) 出品料 四四〇円
 (5) バrcode券の余白に「一字書」と記入

条幅随意参考

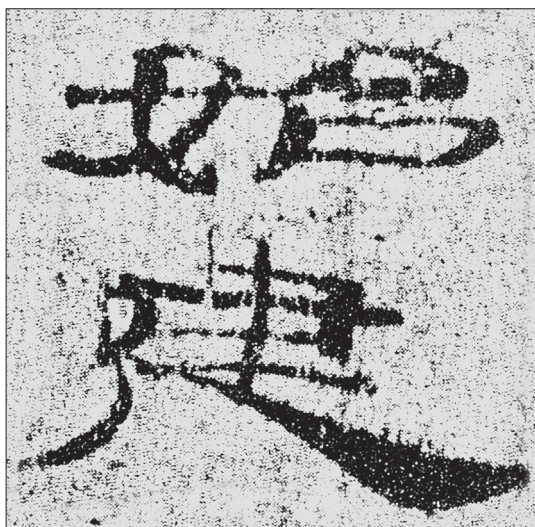
玉門大煎都兵完

※抜粋可。条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。半紙随意部(無料)にも出せます。条幅部に出品する場合はバrcode券余白に「条臨」と記入。



高橋香樹会長担当 半紙臨書課題

(5月22日締切) 出品料440円



木簡(晋代)

1、第二回
字句「始建」

- 2、形式Ⅱ半紙タテ使用。中央に臨書し、左余白に落款「○○臨」と調和を工夫し書き入れる。
 3、概観Ⅱ木(竹)簡とは、紙がなかった時代に、木や竹を使って紙の代用としてその役割を果たしたものです。木簡とは、木を削って札にしたもので、もっぱら北の方で使われ、竹簡は、南方で使われていました。
 一九〇一年スタインのシルクロード探検によって、タクラマカン砂漠南端の尼雅遺跡から出土した晋代木簡と、ヘーデンによる楼蘭遺跡からの晋代木簡の発見は書道史上画期的な事件でした。以後、近年まで多数の木簡が出土しています。書体も篆隸楷行草とあらゆる書体を網羅し、書道史的には、金石文ではそれほどつかみ得なかったところに光明をもたらした肉筆史料として大変重要です。

4、各字のポイント

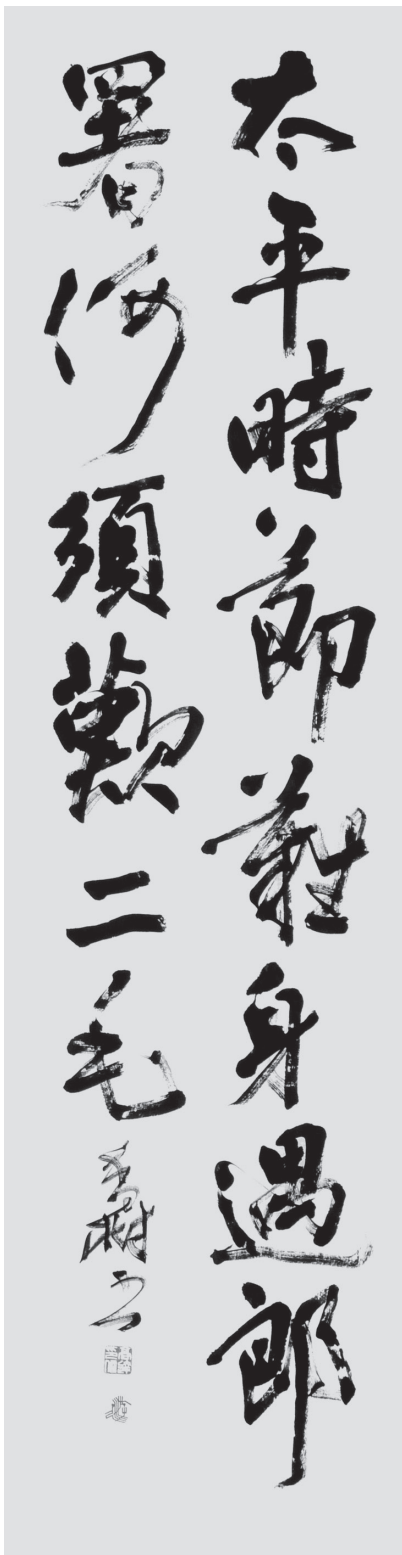
始 一画目強く突き込み、収筆は一画目の頭から入筆。旁の「口」は横画細く、縦画を太く。
 建 下に広く余白をつくり、横画は稍右下がりに。「聿」は、横画一本少ないようだが、他に類を見ない。収画の波磔は非常に美しい。

条幅部漢字課題参考

(五月二十二日締切)

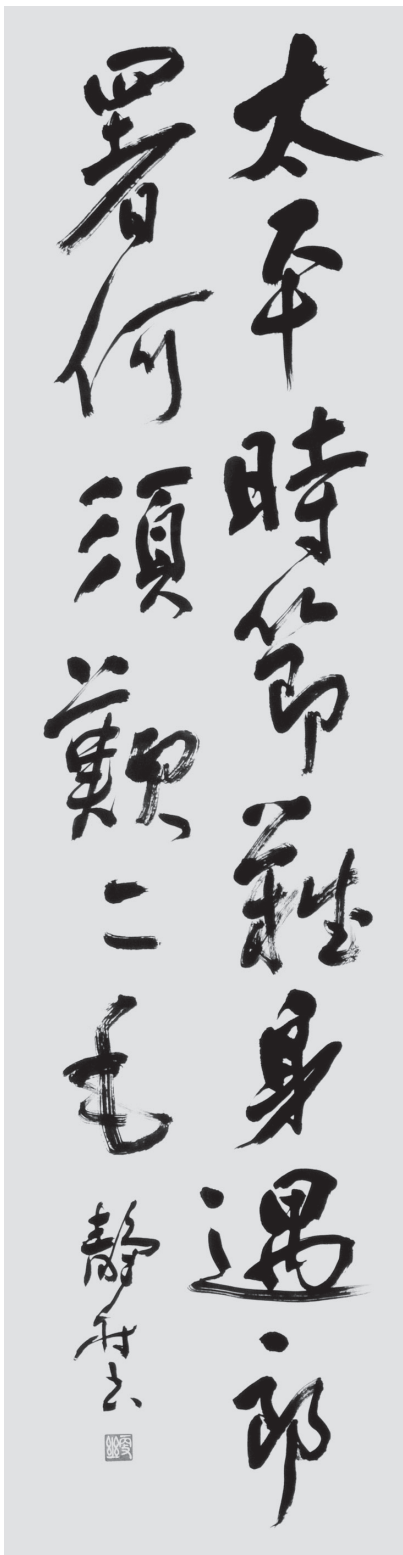
A
高橋香樹会長書

太平時節難身遇 郎署何須歎二毛 (韓愈)
太平の時節身の遇うこと難きも、郎署何ぞ須いん二毛を歎ずるを。



今回は、行書単体の作としました。文字形は意識しないと正方形・長方形になってしまいます。単体作では、正・長方形だと行の流れを感じにくい作となっております。そこで、三角形や台形・菱形といった不定形を使用することにより変化ある作となります。墨継ぎは「身」と「須」です。

B
鈴木静村先生書



太 点は左払いに付けても離しても可。難 行草体多様、字典で確かめを。郎 末画はのびやかに決めたい。署 者 三、四画の重ね書きは蘭亭序にあり。歎 行草体字典参照のこと。二 二画に味の工夫を。毛 筆順による変容を。

訳：太平の時節は出世もむずかしいが、役所で白髪まじりの頭を歎くこともなからう。

予告 (六月二十二日締切)

水満有時觀下鷺 草深無處不鳴蛙 (陸游)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部かな課題参考

(五月二十二日締切)

学 び 方

予告 (六月二十二日締切)

あふちさくそともの木かげ露をちて五月雨はるゝ風わたるなり (藤原忠良・新古今和歌集)

藤原定家の歌。つつじの咲く苔むす道を歩いて来る人は待ち焦がれていた人でしょうか。思いを巡らせて書作するのも楽しいですね。時代や作者の背景などを知った上で作品制作に向かい、より深い思いを込めて表現できたらと思います。

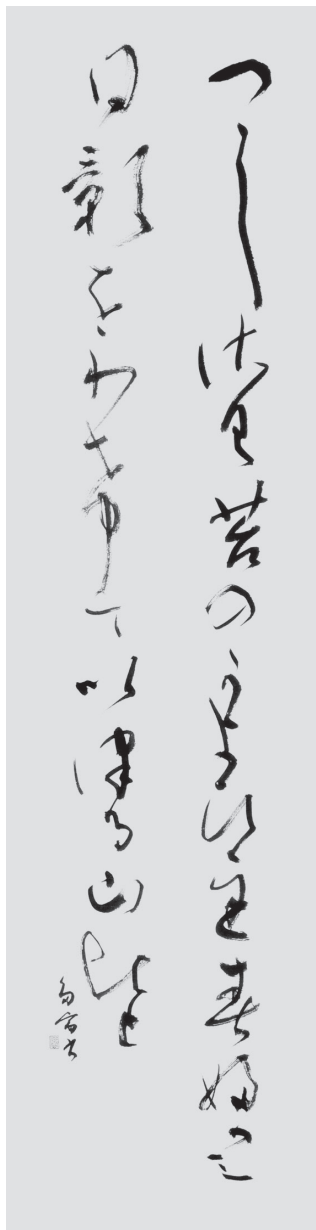
今回は、二行書。自然な運筆を心がけました。稍濃い目の墨色、余り滲じまない紙、筆は羊毛。二行目後半で墨継ぎして墨色の変化をつけました。二行目前半はもう少し渴筆を効かせたいところでした。筆の開閉を上手く使って、表情豊かな作品づくりに取り組んで下さい。

藤原定家は、後に「和歌の神様」と呼ばれ、作風だけでなく日記の筆跡まで真似されるなど、和歌でも書でも一時代を築いたと言えるでしょう。歌集撰者、古典の書写や研究など後世へも及ぼす多くの功績を残しています。亡くなる直前まで記していた日記「明月記」は、子孫の「冷泉家」に残されています。

B

森 多富先生書

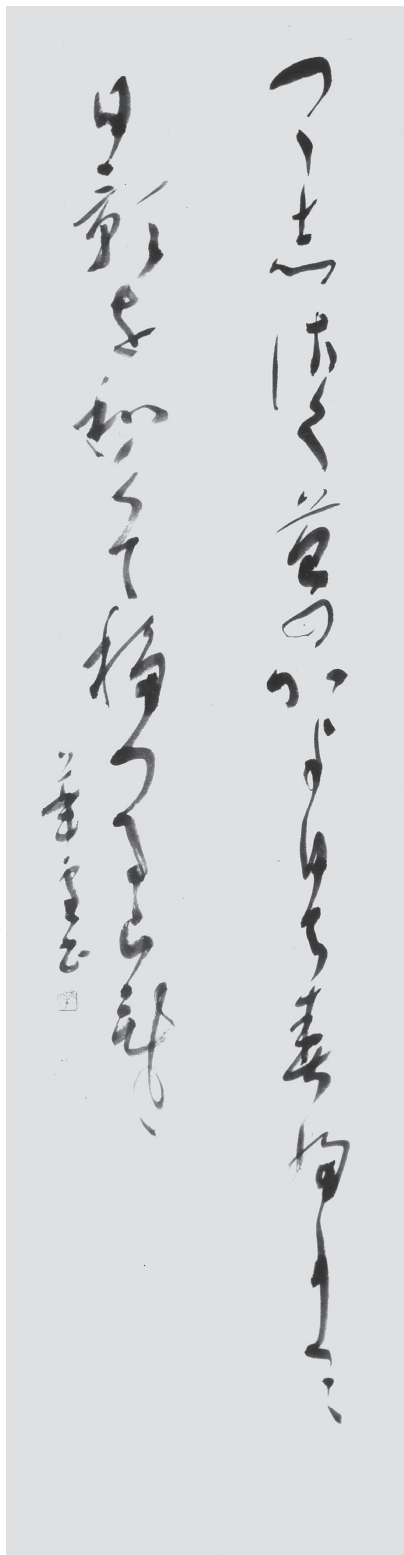
つつし佐具苔のかよひ遅春婦可三日影をわ希て以津る山比と



A

平岡華雪先生書

つつじ咲く苔のかよひ春深み日影をわけていづる山びと (藤原定家)
つつし佐久苔のかよひ春婦可三日影を和介て移つる山飛と

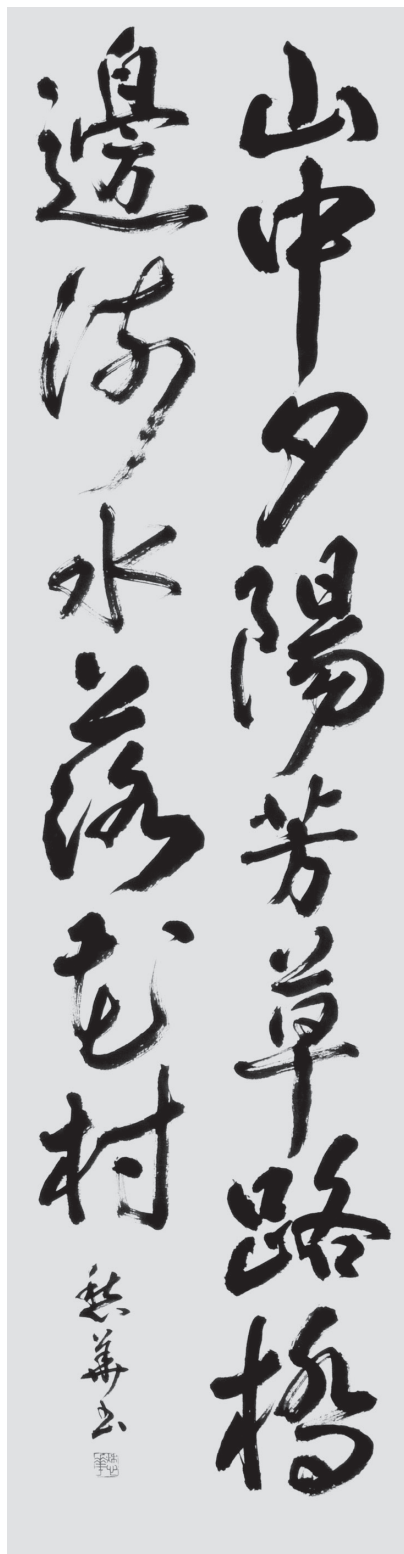


- ◆注 意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部随意参考

石田愁華先生書

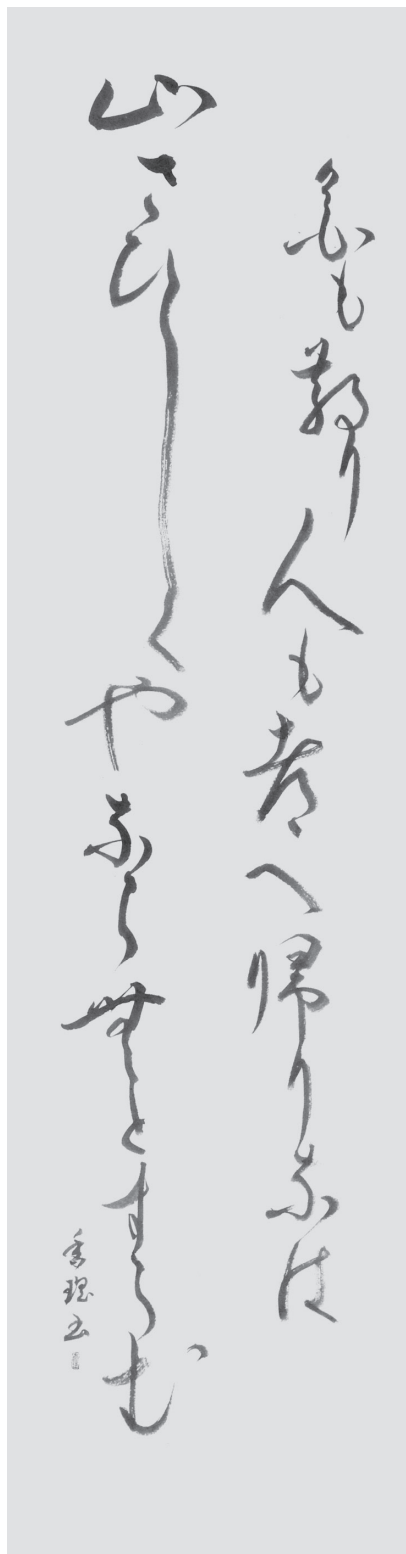
山中夕陽芳草路 橋邊流水落花村（王越）
 山中夕陽芳草路、橋邊の流水落花の村。



訳：夕日は山すその芳草のしげる路を照らしてい、流水は橋のそば落花の村を通っている。

内藤香瑠先生書

花も散り人も都へ帰りなば山さびしくやならむとすらむ（西行）
 花も散り人も都へ帰りなば山さびしくやならむとすらむ



歌意：桜の花も散ってしまい、花見に山路を分けてきた人も都へ帰ってしまったら、山はものさびしくなってしまうことだろう。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

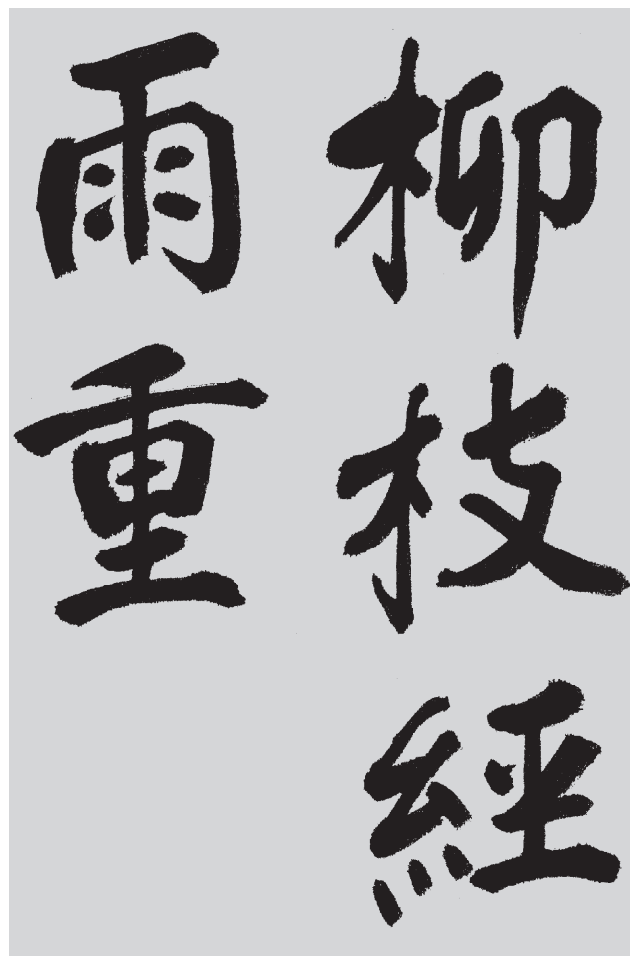
平岡華雪先生書

柳枝雨を経て重し(張謂)

訳：柳は雨にあって枝が重く垂れている。

〈磨墨作のよさ〉

半紙作品は、磨墨して書いてほしいものです。どれ程墨液の質がよくなっても、磨墨の味は違います。磨墨で書いた作品にはどこことなく爽やかさがあります。



漢字部課題参考 (五月二十二日締切)

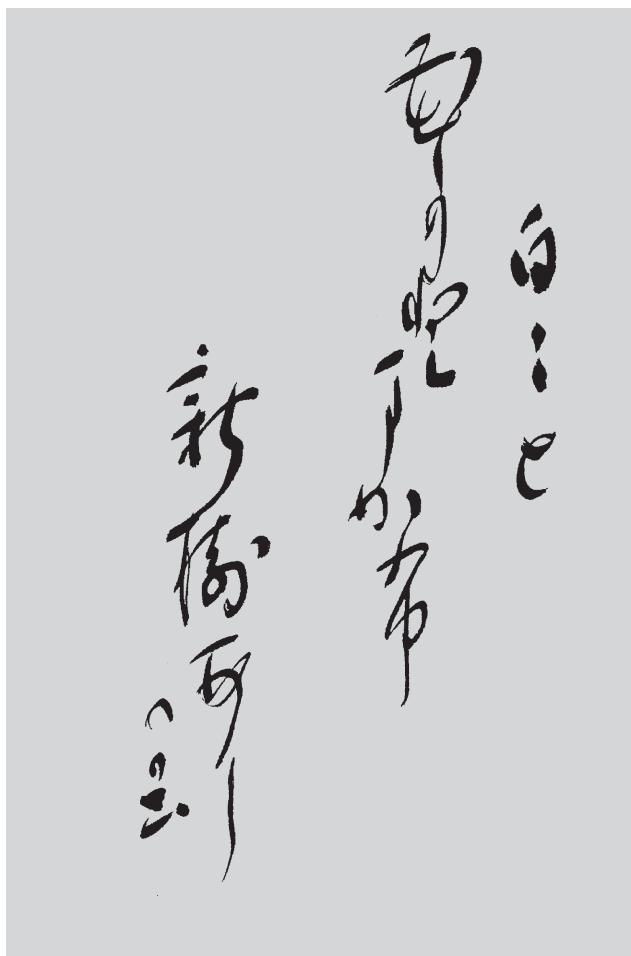
(六月二十二日締切) 立誠而居敬(張南軒)

平岡華雪先生書

白々と花かともがふ新樹あり(虚子)

白々と花可登万か布新樹あり

踊り字「々」、詩歌では点二つをチョンチョンと書く。なかなかリズムに乗せにくい。書き込んで手に馴れさせてほしい。下の句の「新樹」二字共、崩し方が多い。字典で調べ、よく練習した上で使うようにしたい。



かな部課題参考 (五月二十二日締切)

(六月二十二日締切)

浮草の茎の長さや山の池(虚子)

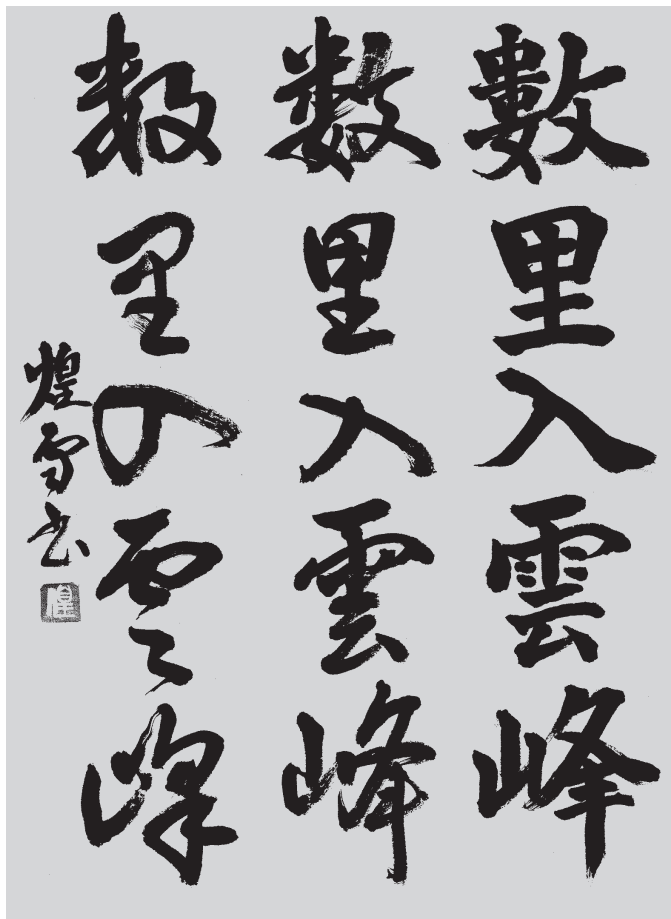
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門(例：「漢字部」「かな部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三体課題参考 (五月二十二日締切)

漢字かな交じりの書課題参考 (五月二十二日締切)

訳：私は数里の間、雲にそびえる峰の奥へと分け入った。



星野煌雪先生書

数里入雲峰 (王維)

数里^{すうり} 雲峰^{うんぽう}に入る

三好達治 (一九〇〇〜一九六四) 詩人。第一詩集『測量船』(昭和五年) 巻頭を飾った短歌形式の二行詩。昭和二年四月、伊豆湯ヶ島に転地療養中だった親友の作家梶井基次郎を見舞い、下田から沼津への船中作。上段は密に下段は疎に構成し、潤濁・緩急をはっきりとつけ、余白に変化をつけてみました。



水貝潮華先生書

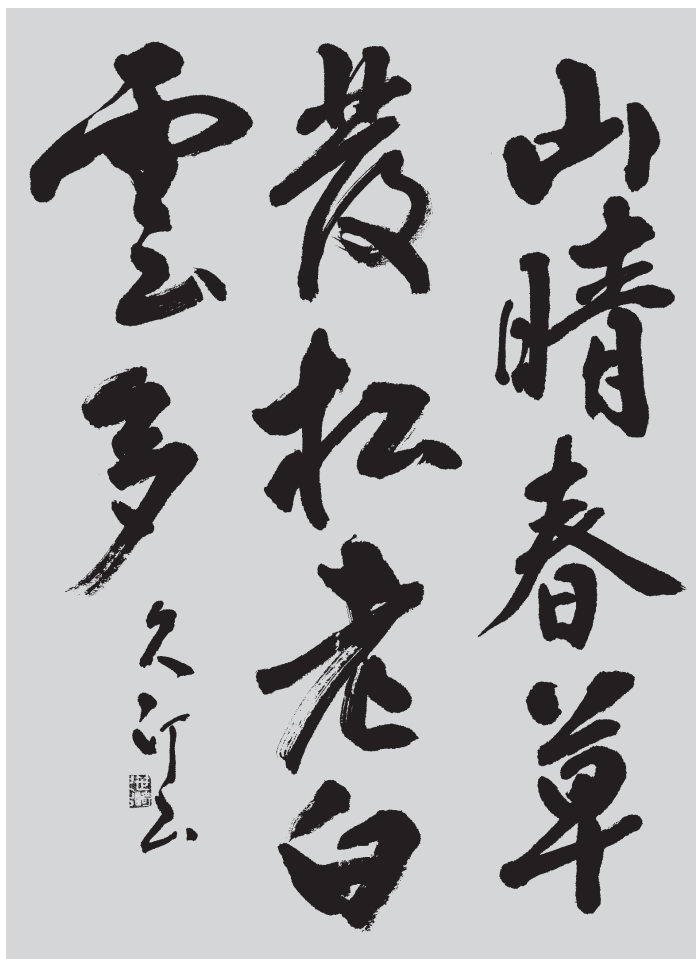
春の岬旅をはりの鷗どり
浮きつつ遠くなりけるかも (三好達治「春の岬」)

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

笹崎久汀先生書

山晴春草發。松老白雲多。(朱轡)
 やまは しんそうはつ まつおい はくうんおほ
 山晴れ 春草発し、松老い 白雲多し。

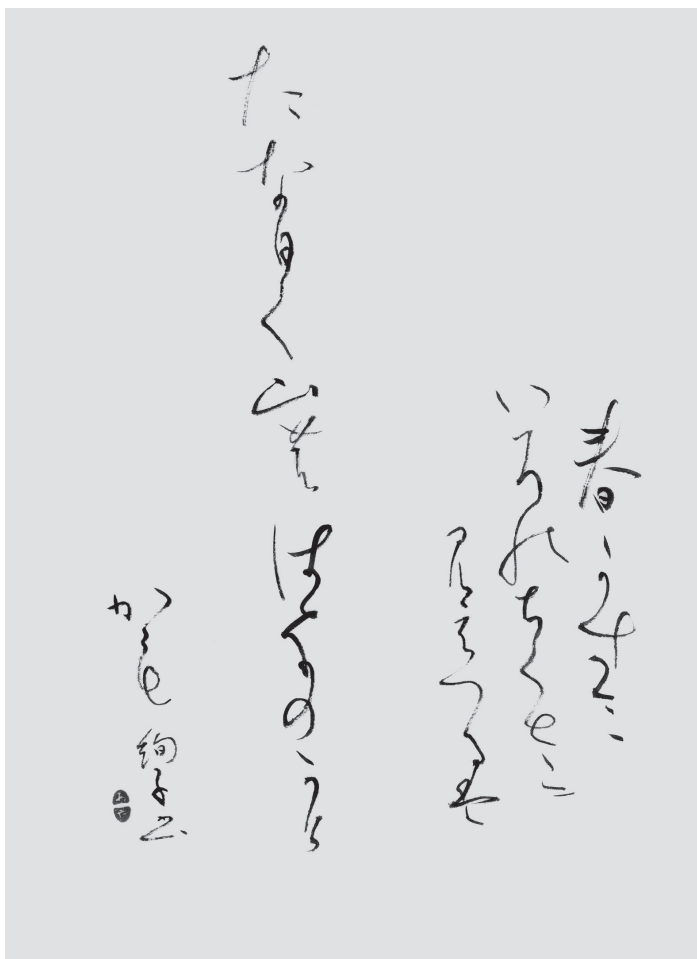


随意部参考

訳…山の色ははれて天気よく春の草は萌えいで、松は多くの年をへて白雲がかかりやすい。

宮 絢子先生書

はるがすみ色のちぐさに見えつるはたなびく山の花のかげかも (藤原興風)
 春可寸三いろ能ちくさ二見えつる盤たな日久山農は奈の可介かも



随意部参考

歌意…春霞の、その色の限りなくも様々に見えたのは、たなびいている山に咲く花の、霞に映る影なのであろうか。

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

硬筆部昇試課題参考

（五月二十二日締切）

赤木典子先生書

昇試課題2（初段階以下）

石原春香先生書

昇試課題1（師範以下初段以上）
（※正教授合格者はこの課題を書かないで下さい）

初々しい新緑の若葉がたちまちにその
茂りを濃くして青葉となつてゆく
のは、夏の速度そのものです。

春は土と草とに新しい汗をかき、
その汗を乾かさうと、雲雀は空にあがる。
瓦屋根今朝不平がない。
長い校舎から合唱は空にあがる。

課題1（師範以下初段以上）

春は土と草とに新しい汗をかき、
その汗を乾かさうと、雲雀は空にあがる。
瓦屋根今朝不平がない。
長い校舎から合唱は空にあがる。

『春』 中原中也

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン（黒色）を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入（色は黒）
- (4) はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 受験料は一、〇二〇円
- (6) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。（返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと。）

課題1 九九〇円
課題2 五五〇円

課題2（初段階以下）

初々しい新緑の若葉がたちまちにその茂りを濃くして青葉となつてゆくのは、夏の速度そのものです。

『四季のことば』米川千嘉子